

田舎暮らしのおすそわけ

田村市グリーン・ツーリズム連絡協議会 モニターツアー



④

今年度2回目となるモニターツアーが、8月5・6日の1泊2日で開催されました。田村市を訪れたのは、東京都をはじめとする県外にお住まいで、田舎暮らしや田舎体験に興味がある13人。今回も地域住民との交流を楽しみながら、田村の夏を体験しました。2日間でどんな出会いや出来事が待っていたのでしょうか。

都路灯まつりに参加

1日目は、市の夏のイベントの一つ「都路灯まつり」に参加。1万本の竹灯に火をともしすなど、田舎のおまつりを体験しました。にわか雨に見舞われたものの、無事に火をつけ終えることができました。辺りが暗くなった後、会場に映し出された庄巻の景色に、疲れも和らぎます。その後は都路地区で民泊。4件



1日目
グリーンパーク都路に到着。①「愛都路の会」お手製の八彩カレーを堪能した後、都路町観光協会からお話を伺いました。②・③竹筒にロウソクを入れた後、竹筒一つ一つに灯をともしました。

迫力のある風景に感激



⑫
蒔田 ひかりさん (初参加/東京都)

都路灯まつりでは、都会では見ることのできないダイナミックな風景に感激しました。民泊先のお父さん・お母さんには、子どもたちのことや大震災のことなどを話してもらいました。

子どもの成長も実感



⑥
海津 正太さん (2度目の参加/東京都)

子どもたち2人と参加しました。6月に植えたひまわりの苗が大きく成長した姿を見て、感動したと同時に、子どもたちの成長を改めて感じる時間になりました。また参加したいです。



2日目
大越町牧野へ移動。ひまわり畑の鑑賞(④)、夏野菜の収穫(⑤・⑥)などを行いました。

◆ひまわりはどこを向いて咲く?◆

ひまわりには体内時計があり、時刻とともに太陽の方向を向くと考えられています。太陽を追いかけよう動くので「向日葵」なのです。しかし、花が咲き始めると、ひまわりは東の方向を向いて動きが止まります。理由は諸説あるようですが、花が上を向いていると、日光が直接当たって温度が上がり、結実に不都合なのだとか。どこから見ると一番きれいに見えるのかを考えたうえで、牧野ひまわり畑の鑑賞台は設置されています。



ひまわりとご対面

のお宅に分かれ、地域住民との交流を楽しみました。参加者はその夜、田村のお父さん・お母さん々と、地域のこと、家族のことなどを夜遅くまで語り合いました。

2日目は、大越町牧野に移動。1回目のモニターツアーで植えられた約3万本のひまわりとご対面。天候不良で少し生育が遅れ、満開ではなかったものの、まささらな畑に力を合わせて植えたひまわりの苗は、私たちの身長を追い越して、ぐんぐんと成長していました。6月のツアーに参加した方も、牧野の皆さんも、ちょっと照れながらも「おかえりなさい!」「ただいま!」と笑顔であいさつ。初参加の方も徐々に打ち解け、帰り際には再会を約束していました。

次回は10月、収穫の秋

今年度最後となるモニターツアーは10月21日・22日を予定しています。

6月に植えた稲や野菜の収穫、郷土料理づくり、さらに牧野地区では初の民泊も実施する予定で、秋もまた楽しみです。

田村を応援したい



⑪
伊藤 雅紀さん (初参加/三重県)

以前、福島に住んでいた時に経験できなかったことを経験でき、有意義でした。地域の皆さんの一生懸命な姿が心に残り、ずっと応援したいなと思いました。田村市が特別になりました。



2日目
⑦…ひまわり染めを体験。⑧・⑨…昼食交流会では、牧野のお母さんたちの手料理に舌鼓。お手伝いもしましたよ。⑩・⑪…再開を約束してお別れ。